



えんぶり

国立病院機構八戸病院

発行元:独立行政法人国立病院機構八戸病院
National Hospital Organization
Hachinohe National Hospital
〒031-0003 八戸市吹上3丁目13番1号
TEL 0178-45-6111 FAX 0178-43-7814
ホームページ
<http://www.hosp.go.jp/~hatinohe/>

平成27年8月発行 第54号



「暑い日の協働体制強化」

看護部長 黒澤 澄恵

5月28日木曜日の暑い日、八戸病院では療養環境整備の日として病院敷地内の美化に着手しました。

4月に着任したフットワークの軽い藺藤院長は救急車で患者搬送終了直後であるにも関わらず参加し、職員とコミュニケーションをとりながら作業を行っていました。

事務職員の中の一人は庭師の資格を持っているのかと思うほど鬱蒼とした庭を美しい庭園に作り上げていきました。本当に見事です。皆様も是非見に来てください。



俳優を髣髴させるダンディな院長も、管内一イケメン揃いの事務職員もオシャレな看護師長も皆泥だらけ?汗だくになり、時には談笑しながら作業している姿は微笑ましくもありまた、新たな団結力を思わせ頼もしくも感じました。疲れを忘れる充実感のある一日でした。このような作業も協働体制強化の一つのツールであると思います。

八戸病院はこれからも日々の業務、イベントを通じて協働体制を強化し院長を中心に職員一丸となって、地域に愛される病院を目指してまいりますので皆様、発展し変わっていく八戸病院を見ていて下さいね。



基本理念

私たちは
すべての患者さまとご家族に
信頼され満足していただける
確かな医療と生活支援を
めざしております

基本方針

- 一 病院組織の運営と地域における役割を果たします
- 二 患者さまの権利と安全の確保に努めます
- 三 療養環境と患者サービスに努めます
- 四 診療の質の確保に努めます
- 五 看護の適切な提供をいたします
- 六 病院運営管理の合理化に努めます

目次:

「暑い日の協働体制強化」	1
看護部長 黒澤 澄恵	
青年共同宿泊研修に参加して	2
理学療法士 田中 美香	
看護師 中村 恵美	
「高校生一日看護体験」を受け入れて	2
副看護師長 河崎 知子	
減塩料理教室を開催	3
栄養士 榎本 雄介	
職員親交会の納涼会を開催	3
フラボーイ須藤	
合同療育活動	3
保育士 市澤 貞子	
地域医療連携室からのお知らせ	4
外来担当医表	4
病院案内	4
編集後記	4

青年共同宿泊研修に参加して

理学療法士 田中 美香

今回、平成27年7月13日より5日間、福島県にある国立磐梯青少年交流の家で宿泊研修に参加させて頂きました。

研修は人間関係とコミュニケーション・自己理解と他者理解について学ぶものでした。中堅スタッフとして、病院での役割や患者様に対するコミュニケーションの取り方等、改めて考え直す事が出来た有意義な研修でした。また、多病院・他職種の仲間と多くの事を語り刺激し合えた事、毎朝7時のラジオ体操に始まり17時過ぎには夜ご飯を食べているというような規則正しい共同生活を送った事は、これから先経験できない良い思い出です。残念ながら雨天のため猫魔ヶ岳登山は中止となってしまいましたが、とても密な5日間を過ごすことが出来ました。今回学んだこと、体験したことは職場に持ち帰り、更なる医療の質向上のために生かしていこうと思います。最後にこのような機会を与えて下さった皆様方に感謝致します。有り難うございました!!

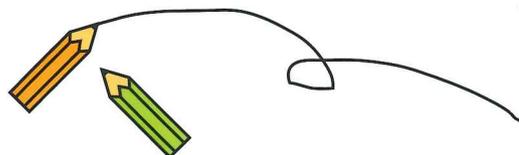


看護師 中村 恵美

今回私は、7月13日から17日に行われた、第10回青年共同宿泊研修に参加させて頂きました。福島県にある国立磐梯青少年交流の家で、北海道東北グループ32名の様々な職種の方と、共同生活を送り、人間関係やコミュニケーションについて学ぶことができました。

研修では、自分がどのようなタイプの人間かを知ることで、他人との違いを受け入れ、より良い人間関係を築くことの大切さがわかりました。この研修に参加する前は、人の話を聞いているつもりでいましたが、人の話を聴くということは、話す人が気持ちよく話せるためのサポートをする(うなずき・あいづち・オウム返しで)という事を知り、改めて自分のコミュニケーションを見直すことができました。

4日目に予定されていた登山は、台風のため残念ながら行う事は出来ませんでした。体育館でのレクリエーションでチームのみんなと汗を流したことは、いい思い出になりました。今回、このような研修に参加させて頂き、ありがとうございました。



「高校生一日看護体験」を受け入れて



副看護師長 川崎 知子

「高校生一日看護体験」とは、次世代を担う高校生が医療従事者および患者さんとのふれあいを通して、看護の仕事・看護に対する関心を高め、理解を深める機会を提供する事が目的です。

今年は、8月5日(水)に行われ、市内の高校生6名(女子5名・男子1名)が参加しました。

オリエンテーションでは、白衣に着替え、少し緊張した表情で八戸病院の概要説明を受けました。その後は、A・B・C病棟に別れて、いよいよ看護体験開始です。病棟の看護師と一緒に、コミュニケーションやケアをしている実際の場面を見学しました。患者さんとコミュニケーションをとる時、話せない患者さんの時はどうするか、どんな姿勢で受け止めるのかを学ぶことができました。ストレッチャーに乗り廊下を搬送される体験や、体験者同士でバイタルサインチェックもしました。病棟の看護師が丁寧に、血圧測定の方法を教えてくださいました。聴診器で自分の呼吸の音、心臓の音を聞いてもらい、聞こえた音に驚きの表情を見せ喜んでいる様子を見て、私たちも新鮮な気持ちにさせられました。

体験の時間は、あっという間に過ぎました。意見交換会では、「患者さんの笑顔がみれて嬉しかった。」「看護師になりたい。頑張って勉強します。」といった感想が聞かれ、オリエンテーションの時とは違って、笑顔で将来への希望を話している高校生はとても輝いていました。この体験を通して、将来の目標を見つける手がかりとなってくれることを願います。

減塩調理教室を開催

栄養士 榎本 雄介

平成 27 年 6 月 24 日に減塩調理教室を吹上公民館で開催し、一般の方 13 名が参加しました。この教室の減塩食献立は、旬の食材のうま味を生かし、薄味でも美味しく食べられるよう、当院の栄養士と調理師 2 名が共同で考えました。内容は、麦ご飯、鱈のアーモンド焼き、イカと野菜の彩り炒め煮、つるむらさきの香味だれサラダ、紅茶ジュレです。講義で学んでいただいた減塩のコツをすぐに実践し、食材が持つうま味や香りを生かすと、少ない調味料でもおいしく調理できることを体感していただきました。薄味でも美味しかった、また参加したいといった声を多数いただくことができました。今後も、糖尿病食を参考にしたヘルシー料理教室等の開催を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。



職員親交会の納涼会を開催

フラボーイ須藤

7 月 24 日（金）に職員親交会主催による「納涼会」を開催しました。

はじめに、藺藤院長より「冷たいビールなどを飲みながら納涼会を楽しみ、英気を養ってください。」とご挨拶がありました。

続いて、黒澤看護部長より乾杯のご発声をいただいた後、美食に舌鼓をうち談笑。

お酒も入り、にぎやかになったところで余興が始まりました。カラオケ大会ではデュエットからこの時期にぴったりの夏うたまで飛び出し、普段は見せない姿で熱唱する姿に会場は大いに盛り上がりました。余興のとりは、男性陣によるフラダンスです。参加者は、ぶっつけ本番の状態で悪戦苦闘しながらも最後まで踊りきり、会場の熱気は最高潮に達しました。



最後は、山中薬剤科長の一本締めでお開きとなりました。

この日の八戸市は、最高気温が 30℃近くと暑い一日になりましたが、納涼会の会場は、まるで常夏の島ハワイにいるかのような熱気溢れるものとなりました。

合同療育活動

保育士 市澤 貞子

去る 6 月 24 日（水）と 7 月 29 日（水）に、4 階の療育プレイホールで A 病棟・B 病棟の合同療育活動を行いました。今回のテーマは、2 日間ともスノーズレン活動で各病棟からグループ編成された 14～15 名が集まりゆったりとした時間を過ごしました。

スノーズレンとは、どんなに障害が重い人たちでも楽しめるように、光、音、香り、振動、温度、触覚の素材を組み合わせたトータルリラグゼーションのことです。皆さん、桜やゆずの香りの足湯や音楽と振動のリラックスチェアで気持ち良さそうな表情をしていました。当日来院した A 病棟のご家族も親子で急遽参加されて「楽しかった」、「また参加したい」などと話されていました。普段は、心理療法室で行っていますが、広い療育ホールでの活動は開放感があり患者様方も生き生きとした表情でした。これからも、患者様に楽しんでいただけるような活動を行っていきたいと思っています。



＝地域医療連携室より＝

夏風邪に注意しましょう

夏になると発生する風邪で、喉を中心とする風邪です。長引くといわれている夏風邪にかかると、仕事にも支障が出るので絶対にかかりたくないですね！

主な原因として①夏バテにより食欲が減るので免疫機能が落ちること②冷房で空気が乾燥して外との気温差で体が弱ってしまうことだそうです。夏バテや冷房が原因となる夏風邪は、日頃からうがい・手洗いも大切ですが、あまり冷房の温度を下げすぎないことも重要です。



診療援助日程 9月

青森県立保健大学 リウマチ科
 渡部一郎教授 9月1日(火)、8日(火)、15日(火)
 29日(火)
 東北大学 リハビリテーション科
 上月正博教授 8月28日(金)
 東北大学 呼吸器外来
 山谷睦雄教授 9月8日(火)
 山形県立保健医療大学
 平山和美教授 10月21日(水)

診療時間、日程等が変更になる場合があります。
 また次回以降については、地域医療連携室またはホームページにてご確認願います。

地域医療連携室 0178-45-6111(内線)4301
 医事課 " (内線)4311

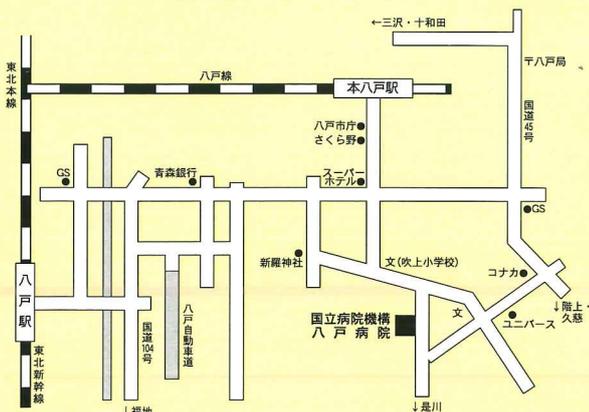
● ● ● 外 来 担 当 医 表 ● ● ●

8月1日現在

診療科	月	火	水	木	金
内 科	関根 耕作(午前)	関根 耕作	関根 耕作(午後)	関根 耕作	安ヶ平 みどり(午前) 関根 耕作(午後)
神経内科			三須 建郎 (午前/予約)		
小児科		河原 仁志(午前)		河原 仁志(午前) 神田 進(午後/予約)	
呼吸器外来					安ヶ平 みどり(午前)
リウマチ外来	リウマチ外来は上記診療援助日程のとおり。				

午前診療受付時間 8:30～11:00 午後診療受付時間 13:00～15:30 小児科外来 8:30～11:30
 ・ただし急患については受付いたします。 ・担当医師については変更されることがありますので電話にてご確認下さい。

病 院 案 内 図



* バス利用の場合

- 1) JR本八戸駅より市営バス「是川団地行き」吹上栄町バス停より徒歩1分
- 2) JR八戸駅より南部バスで「八戸駅線」乗車「三日町」降車市営バス「是川団地行き」吹上栄町バス停より徒歩1分

* タクシー利用の場合

- 1) JR本八戸駅より10分
- 2) JR八戸駅より20分

編集後記

今年の夏は、当院のフラボーイたちの熱い活躍が目立っていますね。私は、今回フラボーイになることができなかったのが、大変残念に思っております。来年の納涼会こそは、フラボーイ部長の座をねらい、八戸病院をより一層盛り上げていきたいです!! Y.E